

セキュリティサービス

一貫したサービス提供体制がセコムの高品質なセキュリティを可能にします。

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、機械と人的サービスが一体となり、質の高いセキュリティを実現しています。その仕組みは、ご契約先に侵入・火災・設備異常などを感知するセンサーやコントローラーなど（セキュリティシステム）を設置し、セコムのコントロールセンターと通信回線で結んで24時間監視するものです。そして、センサーなどが異常を感知すると、その情報がコントロールセンターに送信されます。コントロールセンターの管制員は、その内容を確認し、セコムの緊急対処員に急行を指示し、必要に応じて警察や消防に通報します。セコムの緊急対処員は、ご契約先で即時に適切な対応を行い、ご契約先をお守りしています。

セコムのセキュリティサービスの最大の特長は、セキュリティシステムの研究・開発から、製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、監視、緊急対処、メンテナンスまで、一貫して提供する体制を整えているところにあります。この一貫したサービス提供体制が、高品質なセキュリティサービスの源泉になっています。

主要なセキュリティシステムの研究・開発および製造にかかる責任は、研究開発部門と自社工場において厳重に維持管理されているため、独自のノウハウなどの重要な情報を外部に流出させることなく、迅速に新しいセキュリティシステムを開発することができます。また、自社開発なので、セキュリティシステムの改善や統廃合にも柔軟に対応し、従来のセキュリティシステムに新しく開発した機器を接続するなどバージョンアップにも迅速に対応できます。そして、当社のセキュリティのプロフェッショナルによる適切なセキュリティプランニングや設置工事により、

お客様の個別の状況に合ったセキュリティシステムを提供できます。

また、セキュリティシステムは売却方式ではなく、レンタル方式を基本にしています。これにより、万が一セキュリティシステムが故障した場合でも修理・交換などセコムによる迅速で適切な対応が可能となり、安定したセキュリティサービスが提供できます。また、お客様にとって初期コストを抑えることができるというメリットもあります。

セコムは、自社の社員による緊急対処・メンテナンス体制を整備しているため、素早い対応と的確な処置が行えるだけでなく、お客様からの貴重なご意見やセキュリティシステムの改善情報などを、研究・開発部門に確実にフィードバックすることができます。また、このような一貫体制により、それぞれの部門から集められた情報を関連部門で共有し、これをサービスおよびシステム全体に反映させることで、他の追随を許さない、高品質でユニークなサービスの提供を可能にしています。加えて、一貫体制による徹底したコスト管理を行っているため、セコムは適正な価格でお客様へセキュリティサービスを提供することができます。

また、緊急対処員も、セコムの高品質なセキュリティサービスを支えています。セコムの緊急対処員は、安全管理やセキュリティシステムのメンテナンスに加えて、ビル設備の応急処置も行うなど多方面にわたる技術を持つ安全のプロフェッショナルです。そのような安全のプロフェッショナルが365日・24時間出動できる体制を整備し、ご契約先からのさまざまなご要望に迅速かつ適切に対応することで、お客様からの信頼感や満足度の向上に寄与しています。



セコムのセキュリティサービスを支える緊急対処員



常駐警備員

事業所向けセキュリティサービス

高度化・多様化するセキュリティニーズに、豊富なノウハウ、幅広いラインアップ、優れた提案力で応え、お客様が満足する質の高いセキュリティを提供しています。



2008年3月、東京都港区赤坂に話題のスポット「赤坂サカス」がグランドオープンしました。「赤坂サカス」は、地上39階、地下3階建ての「赤坂Bizタワー」をはじめ、5つのビルで構成され、イベント・演劇・音楽・ダイニングなど、魅力あふれる複合エンターテインメント空間です。セコムは「赤坂Bizタワー」に、セキュリティゲートシステム、「セコムAEDパッケージサービス」、常駐警備などを提供しています。

多様なセキュリティニーズに

セコムならではの対応

大規模施設では、犯罪や事故を未然に防止し安全に運営・管理するために高度なセキュリティが求められており、入居を考えるテナントにとって重要な要素となっています。そのような高度なセキュリティニーズに的確かつ迅速に応えるために、セコムは全国主要都市に大規模施設向けセキュリティシステムの設計を専門に行う「システム設計センター」を展開し、センターの設計員と営業員が密接に連携しながら、それぞれのお客様のご要望に合致した最適なセキュリティシステムの実現をめざして活動しています。

また、お客様の個別のご要望にお応えした機械による最新のセキュリティシステムと高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルである常駐警備員が、それぞれ補完し合いながら運用することで、質の高いセキュリティを実現しています。

また、セコムは、グループの豊富なサービス・商品を複合的に組み合わせて、お客様の多様なニーズに応えると同時に、グループの総合力を活用して販路を拡大しています。例えば、災害対策サービスの一環として「セコム安否確認サービス」をご採用いただき、このサービスで緊密な関係を築くことによって生まれた信頼から、セキュリティサービスのご契約をいただくなど、グループとしての取り組みが有効に機能しています。セコムは、今後もこれまで培ってきたセキュリティのノウハウと提案力、グループの総合力で、真価を発揮し、さまざまなニーズに応えていきます。

多様化する犯罪傾向に対応する 高度なセキュリティシステムを開発

最近の犯罪はますます巧妙化、凶悪化、短時間化しています。これに対応するため、セコム独自の画像認識技術を用いたオンライン・セキュリティシステム「セコムAX」は、暗闇でもセンサーが異常をキャッチし、画像処理の結果、それが侵入者であると判定すると、異常信号とともに画像をセコムのコントロールセンターへ送信します。これにより、コントロールセンターの管制員は、侵入者の状況を正確に把握できます。

さらに、「フォギープロテクションシステム」が設置されていれば、管制員が遠隔操作で白煙を噴射させ、侵入者の視界を遮断して犯行の続行を困難にすることができます。また、この「セコムAX」にテナントビル向けオンライン・セキュリティシステム「セコムTX」の特長を持った「セコムT-AX」を発売しました。これにより、大規模施設でも、画像による防犯監視の提供が可能になりました。

近年、情報漏えい防止や犯罪の抑止に効果がある監視カメラシステムの需要が、増加しています。そのような需要に高度な機能と品質で応えるために、カメラ自体への妨害行為を検出する機能など、セコム独自のノウハウを継承し、最大16台までデジタルカメラとアナログカメラを混在接続して管理・運用できる、長時間の連続記録が可能な高機能監視カメラシステム「HVRシステム」を発売しました。従来は、デジタルカメラへ切り替える際にアナログカメラを撤去していましたが、「HVRシステム」を採用することで、すでにアナログカメラを設置しているご契約先では、既存のアナログカメラやその関連機器をそのまま利用できます。そのため、安価に高機能監視カメラシステムへ移行できます。セコムの「HVRシステム」は、新規・既存のご契約先を問わず経済的な価格で提供可能です。



「HVRシステム」の監視カメラ



「HVRシステム」の記録装置



セコム・コントロールセンター



手のひら静脈識別による出入管理システム
「セサモID j」



子どもの緊急避難所となる「こども110番」

夜間だけではなく 昼間のセキュリティニーズにも対応

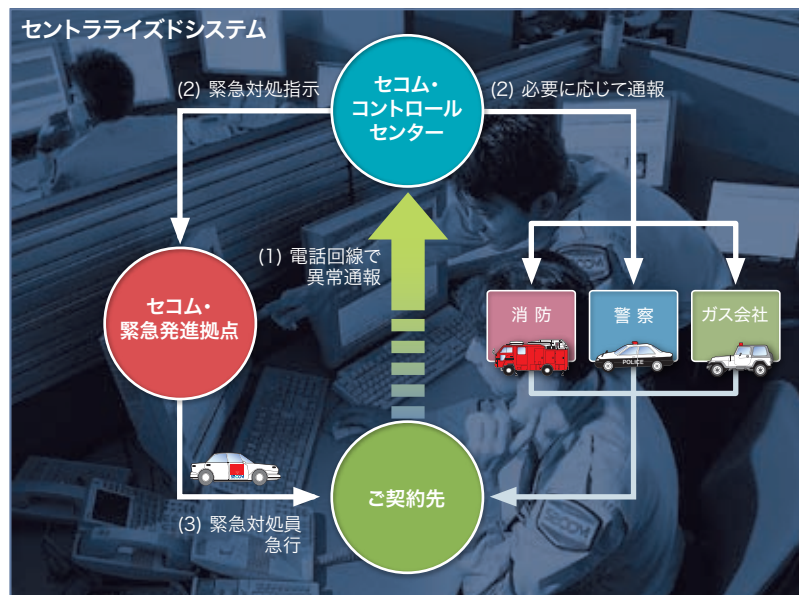
2005年に個人情報保護法が施行されて以後も、顧客情報などの個人情報の漏えい事件が相次いでいます。その原因の多くは、資料、パソコン本体やそこに保存されているデータが、不正に持ち出されているからです。

セコムは、このような問題を解決するために統合型入退室管理システム「セサモTRⅡ」を開発しました。「セサモTRⅡ」は、いつ・だれが・どこに入退室できるかを制限でき、その入退室の記録も詳細に行えます。またグループ企業のセコムトラストシステムズ(株)が発行する電子証明書をICカードに格納すれば、パソコン起動時や社内LANのアクセス時の認証など、パソコンおよびネットワークにおける高度な個人認証にも活用できます。さらに、生体認証を活用した指紋照合システム「セサモID_s」や、手のひら静脈認証システム「セサモID_j」を組み合わせることで、より高度な入退室管理が可能になります。また、万引対策として販売している「不正持出し監視システム」も、店舗用という本来の用途を超えて、オフィスの昼間のセキュリティ強化にも利用されています。

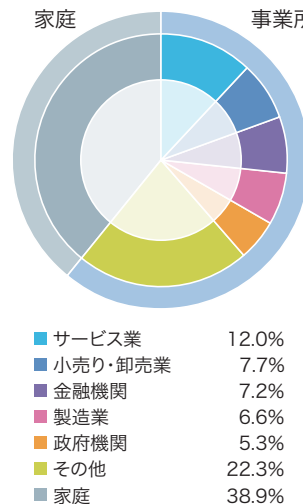
最近、店舗や事務所などでは、昼間、社員が出勤してから営業開始までの時間帯や、営業終了後の時間帯を狙った強盗などが発生し、社員に危害が加えられる問題に直面しています。そこで、セコムは、特定の機器を追加することで、有人時に窓や扉の防犯センサーだけを監視状態にして、不審者などの侵入を検知・通報できるサービスの提供を開始しました。この機器は事業所向けセキュリティシステムとの連携が可能なので、お客様に安全強化策のひとつとして積極的に提案しています。

セコムのビジネス基盤の活用により 新たなお客様のニーズに対応

セコムは、金融機関のATMコーナーに導入されている遠隔画像監視システム「セコムIX」を利用した「こども110番」を開始しました。その仕組みは、犯罪に巻き込まれそうになった子どもが、「セコムIX」を設置しているATMコーナーに駆け込んで「こども110番」ボタンを押すと、入口の自動ドアを施錠することで子どもを不審者から隔離し、セコムの画像センターが映像を確認します。画像センターでは、管制員が受信映像を確認し、



セントライズドシステムの契約先区分
(2008年3月31日現在)



ATMコーナーに入った子どもが安心できるようにスピーカーを通じて声をかけ、必要に応じて緊急対応員への指示や警察への通報を行います。地方銀行での導入を契機に、「こども110番」は農業協同組合のATMコーナーにも導入されています。

セコムの巡回警備業務のノウハウを活用して、2007年4月から実施しているのが「世田谷区安全安心パトロール」です。これは、東京都世田谷区の委託を受けて区内の公道や公園などを、セコムの社名入りの車両で24時間・365日パトロールサービスを行います。サービス開始以来、不審者逮捕への貢献などが報告されています。

このセコムの質の高いパトロールが評価され、港区から受託したのが「みんなとパトロール」です。これは、区内全域の「夜間パトロール」や、子どもの安全確保に配慮した「通学路パトロール」「子どもの施設巡回パトロール」に重点を置いています。セコムのお客が多い世田谷区と港区では、定期的にセコムのパトロールカーが巡回することで、普段でもセコムが見守ってくれと好評で、地域の皆様からも喜ばれています。

PFI刑務所「喜連川社会復帰促進センター」も運営開始

セコムは、わが国初のPFI(Private Finance Initiative)刑務所「美祢社会復帰促進センター」(山口県美祢市)に続き、2007年10月から「喜

連川社会復帰促進センター」(栃木県さくら市)と黒羽刑務所(栃木県大田原市)の運営を開始しました。「喜連川社会復帰促進センター」は、セコムを代表とする企業グループが、一般競争入札で落札し、セコムを筆頭株主として設立した社会復帰サポート喜連川(株)が15年間にわたり法務省と協働で運営します。この競争入札は、価格だけではなく提案内容も重視する最近の傾向の好事例で、セコムが追求してきたセキュリティサービスの質と提案力が評価された結果となりました。

受刑者の社会復帰を促進する「喜連川社会復帰促進センター」は、監視カメラでセンター内を監視するなど、厳重なセキュリティ体制を整備しています。センター内のIT基盤は、グループ会社のセコムトラストシステムズ(株)が、施設管理は同じくグループ会社の東京美装興業(株)が担当するなど、グループの総合力を活かしてサービス提供に努めています。また、グループセッションを中心とした改善指導や労働需要に見合った資格取得がめざせる職能教育など、従来の刑務所に民間の創意工夫を取り入れて運営しています。

セコムは、この事業を通じて刑務所運営のノウハウを蓄積し、受刑者の早期社会復帰と再犯防止を支援することで、「安全・安心」な社会の実現に貢献しています。



世田谷区内をパトロールするセコムの車両



港区内をパトロールするセコムの車両



PFI刑務所「喜連川社会復帰促進センター」外観



PFI刑務所「喜連川社会復帰促進センター」エントランス

家庭向けセキュリティサービス

ご家庭でさまざまな不安・不便を感じている方の、より質の高い安全や利便性へのニーズをとらえ、家庭向けセキュリティシステム・商品の販売を強化しています。



普及段階に入り利用者が増加する

「セコム・ホームセキュリティ」

1981年に日本で初めて発売した「セコム・ホームセキュリティ」は、侵入・火災・ガス漏れ・急病などを24時間オンラインで監視し、異常が確認されると即座にセコムの緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報します。現在、マンションにお住まいの独身者から中高年のご家庭まで幅広い層にご契約いただき、年々、利用者が増加しています。

近年、在宅時に不審者などに侵入されて危害を加えられるケースが増えており、外出時の財産を守るだけでなく、在宅時の家族の安全を守ってほしいというニーズが高まっています。このようなご要望にお応えして、「セコム・ホームセキュリティ」にも接続できる在宅時の安全商品を充実させています。例えば、戸建て住宅への侵入の手口

で最も多いガラス破りに対応したセンサー付き防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」、敷地内への侵入をいち早く検知して不審者の家屋への侵入を未然に防ぐ「屋外画像監視サービス」、訪問者が故意に顔を隠していないかを判別する顔検知機能を内蔵した「セキュリフェースインターホン」などがあり、これらは「セコム・ホームセキュリティ」に接続して、ひとつのシステムにすることができます。

また、セコムは「セコム・ホームセキュリティ」をさらに普及させるために、さまざまな販路も積極的に開拓しています。住宅リフォーム市場では、大手ガラスメーカーと提携することで、「セコム・ホームセキュリティ」の販売を拡大しようとしています。リフォームは、住宅の防犯強化を考える契機ともなり、「セコム・ホームセキュリティ」の需要が見込めます。

建売住宅の市場では、大手ハウジングメーカーと高機能防犯住宅について提携し、そのモデルハウスに今考えられる最高レベルのセキュリティを導入しました。その特長は、「セコム・ホームセキュリティ」を標準装備しているのに加えて、

「セキュリフェースインターホン」を採用。また夜間、人が近づいたときにライトを自動点灯させてその画像を撮影する「センサーライトカメラ」、耐火性能と耐破壊性能に優れた金庫「ホームピタガラス」も設置しています。

さらに、既築マンション市場では、マンション管理戸数で業界トップの不動産会社と提携し、各住戸のモニター付インターホンシステムを利用したホームセキュリティの導入を促進しました。

また、住宅街をまるごとセキュリティで守る、タウンセキュリティのニーズも高まっています。タウンセキュリティは、各住戸と住宅街全体に「セコム・ホームセキュリティ」やさまざまな安全商品を組み合わせて導入することで、高品質な「安全・安心」を実現しています。

さらに充実した「セコム・ホームセキュリティ」の付加価値サービス

セコムでは、ご契約先の満足度を一層高めるために、お客様の幅広いニーズに応えるさまざまなサービスを提供しています。そのひとつが、「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先を対象にした



「セコム・ホームセキュリティ」が標準装備された高機能防犯住宅



「セコム・ホームセキュリティ」



「セコム・ホームセキュリティ」の付加価値サービス
「セコム・ホームサービス」

生活支援サービス「セコム・ホームサービス」です。このサービスには、お客様が旅行や出張で長期間不在になる場合にセコムスタッフが家の周りを巡回するなど暮らしの中の不安を解消する「あんしんサポート」、カギの交換や、ガラスが割れる、パソコンが壊れるといった突発的に起こるトラブルに専門の提携会社に対応する「トラブルサポート」、掃除や食事の支度、買い物、植栽の世話などをセコムまたは提携会社が行う「家事サポート」があります。これらのサービスは、「ホームサービスデス

ク」が24時間・365日体制で対応し、お客様から電話があれば、必要なサービスの手配から完了まで、セコムが責任を持って対応・管理します。

またセコムは、「セコム・ホームセキュリティ」とマンション用セキュリティシステム「セコムMS-3」のご契約先向けに、緊急地震速報サービスを開始しました。緊急地震速報サービスは、大地震の発生をいち早く通知することで、ご家庭やマンションでは身の安全を確保することができます。

「セコム・ホームセキュリティ」が全戸に標準装備され、監視カメラなどさまざまな安全商品を組み合わせ、区画全体の安全を提供するタウンセキュリティ



その他のセキュリティサービス

セコムならではのサービスで利用が拡大する「セコムAEDパッケージサービス」。「ココセコム」は、通報できる、居場所が分かる、要請でセコムが現場急行対応。全国でその貢献事例が報告されています。

進化する「セコムAEDパッケージサービス」

セコムは、救命用の「セコムAEDパッケージサービス」を販売しており、その取扱高が伸びています。このサービスの特長は、AED（自動体外式除細動器）機器を単に販売するのではなく、AED機器一式をレンタルでご契約いただき、定期交換用消耗品や使用後の交換用消耗品の提供、機器に異常が発生したときの正常化対応、24時間体制のヘルプデスクといったトータルサービスを提供しているところにあります。

現在では、官公庁、空港、駅、スポーツ施設、映画館、ガソリンスタンド、金融機関といったさまざまな業種に幅広く普及しています。セコムは、このサービスを発展させ、銀行のATMコーナーに設置されているAED機器を常に使用可能な状態にしておくための監視サービスを開始しました。

より多くの皆様にご活用いただけるように 利便性が強化された「ココセコム」

2001年4月に発売した位置情報提供サービス「ココセコム」は、“屋外の移動体”を対象とした



「セコムAEDパッケージサービス」

セキュリティとして、子どもの誘拐対策や自動車の盗難対策、貴重品の輸送や社員の行動管理などに広く使われ、迷子や盗難車両の発見などに貢献しています。「ココセコム」は、GPS（全地球測位システム）衛星と携帯電話基地局の情報を利用して専用端末の位置を突き止めるため、高精度な測位が可能です。

また、「ココセコム」はGPS機能のついた携帯電話機にはない特長があります。例えば、位置情報専用端末なので非常時の操作が分かりやすく、ココセコムオペレーションセンターのオペレーターと電話で話ができ、要請に応じて24時間・365日全国約2,200カ所のセコムの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけます。

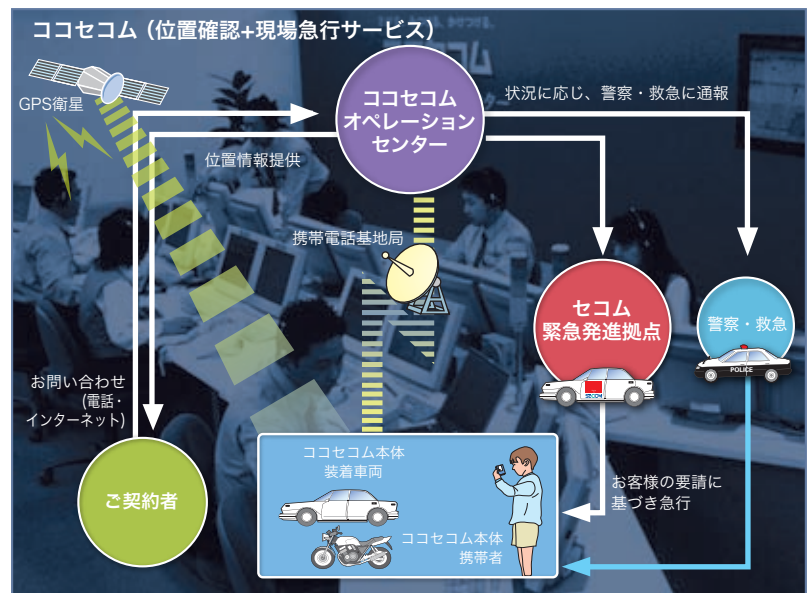
この「ココセコム」をさらに普及させるために、セコムは「ココセコム」の契約形態を変更し、1台でご家族の共同利用ができるようにしました。



ココセコムオペレーションセンター



普及が進む「ココセコム」



セコムの研究・開発活動



セコム開発センターは、「社会システム産業」の基幹となる技術やシステムの開発を行い、社会のニーズを先取りしたシステム、独創性のあるシステム、信頼性のあるシステムの開発に取り組んでいます。

セコムが最も重視しているのは、品質の追求です。セコムのシステムは、365日・24時間稼働し続けています。従って、さまざまな気象条件や設置環境のもとでも確実に異常をとらえるためには、一般の家電製品とは異なり、高度な信頼性が求められます。そのため、開発したシステム・商品は、信頼性の試験を繰り返し、セコムが高い信頼性を確保するために独自に設けた「セコム機器標準仕様」に合格したものだけを、セコム工業（株）を含む国内外の有力工場で製造しています。工場は、セコム

開発センターとお互いに情報を交換しながら品質の高いシステム・商品の開発・製造に取り組んでいます。

また、セコムは、開発のスピードも重視しています。これは社会動向や犯罪傾向をいち早く察知し、すばやく対応することがセコムの社会的責任と考えるからです。

セコムIS研究所は、将来の「社会システム産業」の実現に向けて、新しい商品やサービスモデルに必要な高度な技術基盤の確立をめざし、研究に取り組んでいます。

具体的には、センシング技術、画像処理技術、ロボット技術、ネットワークセキュリティ技術、医用情報処理技術など、セコムの将来のシステム・商品の核となる技術を研究しています。セコムIS研究所で研究した技術は、セコム開発センターによる製品化で活用しています。

例えば、独自の画像認識手法を駆使した画像センシング技術で実現したのが、「セコムAX」です。屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」は、自動走行制御技術や屋外センシング技術の研究から生まれました。医療用情報処理技術と通信技術を組み合わせるのが、遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」

です。これは医療機関で撮影されたCTやMRIの画像を、セコムのホスピネットセンターに伝送し、センターの専門医が画像診断するサービスです。

セコムIS研究所の研究員は、営業やサービスの現場に出て実務経験を積み、その経験を活かすことで、お客様が真に求めるセコム独自のシステム・商品を研究・開発しています。

セコムは、これからもお客様のニーズを的確に把握し、時代を先取りした高品質のシステム・商品を生み出し、社会の期待と信頼に応えていきます。

セコム開発センターがあるセコムTEセンター



セコムIS研究所があるセコムSCセンター



海外でのセキュリティサービス

日本と同じ、質の高いセキュリティサービスを提供している海外事業。
アジア圏では事業をさらに拡大しており、英国ではセコムPLCが「最優秀顧客サービス賞」を受賞しました。

中国、東南アジア市場を拡大

セコムは、台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、英国、オーストラリア、米国でも事業を展開しています。現在、東南アジアの国々は急激な経済成長を遂げており、それに伴ってセキュリティニーズも急速に高まっています。例えば、企業のセキュリティ対策として、企業内部の安全を高める監視カメラシステムの販売が、好調に推移しています。

また、東南アジアのセキュリティビジネス進出時の特長として、ご契約先が日系企業である場合が多く、進出先の事業所でも日本と同様、質の高いセキュリティサービスを受けたいというご要望が強い。そのため、セコムのビジネスモデルを導入しやすい利点があります。セコムは、東南アジア市場を強化するために、各国で事業拠点を増やし、サービス基盤の整備を積極的に行っています。

中国市場は、沿岸主要都市の大連、上海、北京、青島、深圳に事業会社を設立し、日本と同じ形態のセキュリティサービスを提供しています。これらの会社では本社所在地だけでなく、その周辺都市にも支社などの事業拠点を開設し、サービス提供エリアを拡大して、ご契約先を増加させています。

本格的なセキュリティサービスの普及期に入った中国市場で、セコムは沿岸主要都市から内陸部の主要都市へ展開し、全国規模の中国企業への普及に注力しています。また、当地でセキュリティ機器の供給を担っているのが、中国企業との合弁で設立したセキュリティ機器の総合商社、上海冠林セコムインテリジェンステクノロジー Co., Ltd.です。この商社は、中国企業および外国企

業の中国工場からセキュリティ機器を調達し、必要な機器を組み合わせ、お客様に最適なセキュリティシステムを提供しています。複数のセキュリティ機器メーカーとのネットワークを持つ上海冠林セコムインテリジェンステクノロジー Co., Ltd.の存在は、今後の中国の事業展開で強みになると期待しています。

セコムPLCが「最優秀顧客サービス賞」を受賞

英国のセコムPLCは、「2007年セキュリティ・エクセレンス・アワード」で、「最優秀顧客サービス賞」を受賞しました。同賞は、英国の警備業協会、英国警察署長会議、セキュリティ業界誌などが主催する英国セキュリティ業界最大のアワードです。今回の受賞で、セコム独自のセキュリティシステムの質を、英国で認知していただけたと考えています。

また、セコムPLCは2007年に、英国のヒースロー国際空港内にある警察施設のセキュリティシステムを受注しました。今回の大型受注では、英国メトロポリタン・ポリス（ロンドン警視庁）の委託で、テロ攻撃のリスクが高いヒースロー国際空港の新ターミナル、国際高速列車ユーロスターの新設された駅であるセントパンクラス駅とストラトフォード駅の警察施設に、セキュリティサービスを提供します。セコムPLCは、すでに一部の警察施設にセキュリティシステムを提供しており、その実績とサービスの質の高さがロンドン警視庁から評価され、今回の受注に至りました。セコムは、今後も質の高いセキュリティサービスを提供することで、海外事業の一層の拡大をめざしていきます。



北京京盾セコムエレクトロニック
セキュリティ Co., Ltd.の緊急対応員



「2007年セキュリティ・エクセレンス・
アワード」授賞式の模様



英国・ヒースロー国際空港
第5ターミナル

防災サービス

数多くの防災システムの納入実績に裏付けされた信頼の防災サービス事業。

住宅用火災警報器の販売が好調で、防災システムのリニューアル需要にも幅広く応えています。



住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の需要が好調

2006年12月より連結子会社となった能美防災(株)は、自動火災報知設備や消火設備をはじめとする各種防災システムを提供する大手メーカーです。

同社が製造し、セコムが販売しているのが、住宅用火災警報器の新「ホーム火災センサー」です。消防法の一部改正に伴い、新築住宅への住宅用火災警報器の設置が義務づけられたのに続いて、既築住宅でも市町村条例で順次設置が義務づけられています。

この法改正を受けて、新「ホーム火災センサー」の需要が伸びています。このセンサーは長寿命(約10年間)の電池を電源にしているため、火災時に停電しても機能が停止しない、センサー単独で機能するので配線作業がいらないなど、さまざまな長手を備えており、住宅メーカーなどから高く評価されています。また、故障の場合などは、セコムが24時間・365日お問い合わせに対応しています。

セコムは、今後もこの成長の可能性が大きいこの市場で、重要な役目を担いながら、一層の普及に努めていきます。

防災システムのリニューアルが増加

能美防災(株)は、複合施設、オフィスビル、マンション、プラント、トンネル、文化財、船舶、病院、住宅など、さまざまな施設に防災システムを提供しており、サービスの向上とシステムの改善を続けながら、多くの施工実績を残しています。最近、ビルのリニューアルを機会に防災設備も最新のシステムに付け替えるケースが増えています。能美防災(株)では、豊富な施工実績と長年にわたって培われた信頼関係を背景に、リニューアルのご相談を数多くいただいています。

また、能美防災(株)は、環境に配慮した事業にも取り組んでおり、都市部のヒートアイランド現象の緩和をテーマに開発したのが「ドライミスト」です。この「ドライミスト」は、極めて微細な水の粒子を噴霧することで、噴霧エリアの気温をおよそ2～3度低下させる効果があります。噴霧用の水は上水道を用いて衛生面に配慮し、気温、湿度、風などの気象条件に応じた自動運転により、省エネルギーで「涼・爽・快・清」を提供することができます。「ドライミスト」の導入事例は次第に増えており、今後もより快適な都市環境づくりに貢献するなど、長年蓄積した経験とノウハウで、新分野にも意欲的に事業を展開していきます。



能美防災(株)のメヌマ工場



設備管理業務の様子

メディカルサービス

「訪問看護サービス」は年々充実し、新発想の有料老人ホームなども、グループの総合力を活かして運営しています。

広がりを見せる信頼の「訪問看護サービス」

「社会システム産業」の事業コンセプトである「安全・安心」を突き詰めると、究極の「安全・安心」は「いのちを守る」ことです。そこでセコムは、医療分野に進出し、多様なメディカルサービスを提供しています。

1991年にセコムが日本で初めて民間によるサービスとして手掛けた「訪問看護サービス」は、主治医の指示に基づいて、高い医療知識と優れた看護技術を持つ訪問看護師が、質の高い看護サービスを提供することで、厚い信頼をいただいています。このサービスは、全国約40カ所の訪問看護ステーションに配置された約260名の訪問看護師が、お客様の立場に立った満足度の高い看護ケアを提供しています。

新発想の介護付有料老人ホーム

「セコムフォート」シリーズを展開

セコムは、セキュリティサービス事業とメディカルサービス事業で培ってきたノウハウを結集し、新発想の介護付有料老人ホーム「セコムフォート」シリーズの第一弾「コンフォートガーデンあざみ野」（横浜市）を、2006年から運営しています。「セコムフォート」シリーズは、「コンフォートエイジング」（老いていくことを不安に感じるのではなく、自然に受け入れながら快適に暮らしていただくこと）を

コンセプトに展開しており、2009年6月には「コンフォートヒルズ六甲」（神戸市）を、オープンする予定です。

新しいシニアライフの在り方を提案する「セコムフォート」シリーズは、「安心」と「快適」をより高いレベルで実現した有料老人ホームとして、注目されています。

地域医療に貢献するセコムの提携病院

セコムが提携している病院は、在宅医療の患者様に対する後方支援病院としての機能を提供するとともに、より理想的な地域医療システムの開発をめざしています。セコムの提携病院は現在16カ所あり、セコムは効率的な病院経営、優れた医療従事者などの人材確保、最新の医療機器の整備、医療サービスの向上など、さまざまな問題解決のための支援を行っています。



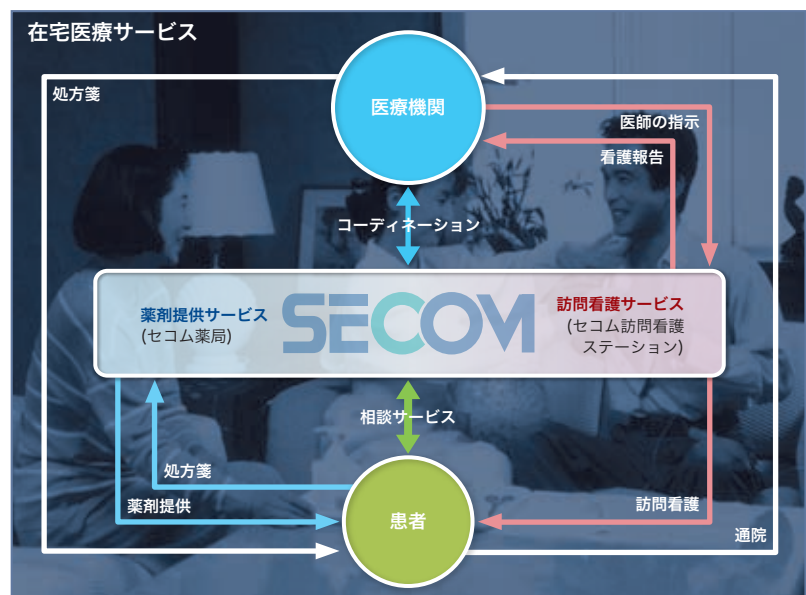
訪問看護サービスの研修風景



「コンフォートヒルズ六甲」
外観完成イメージ



訪問看護サービス



保険サービス

事後の補償で「安全・安心」をより強固にするセコムの損害保険。
セコムならではのユニークな保険商品を開発し、積極的に拡販しています。



「NEWセコム安心マイカー保険」
の現場急行サービス

セキュリティ+損害保険

セコムがグループ内で損害保険会社を運営する理由は、「安全・安心」を実現するためです。事前の備えを提供するセキュリティ事業と、事後の損害を補償する損害保険事業が組み合わさることで、「安全・安心」をより強固なものにすることができます。

セコムのユニークな損害保険商品

「セコム安心マイホーム保険」は、24時間オンラインで火災を監視するホームセキュリティを導入することで、火災によるリスクが軽減されているお客様に対して保険料を割り引きます。そのほか、「オール電化住宅」「耐火性能の高い建物」など、お住まいの設備に応じてさまざまな割引をご用意するなど、確かな補償と納得の保険料（最大約60%割引）を実現できる住宅専用の火災保険です。

また、事務所や店舗などを対象とする火災保険にも、セキュリティ導入による火災リスクの軽減を反映した「火災保険セキュリティ割引」（最大約30%割引）をご用意しています。

リスクに応じた納得の保険料をご提案できるこれらの商品は大変ご高評を得ており、セキュリティのご契約をきっかけにご加入いただくお客様が増えただけにとどまらず、保険の加入をきっかけにセキュリティをご契約いただくお客様が増えるという相乗効果を生み出しています。

「NEWセコム安心マイカー保険」の「現場急行サービス」は、万一事故にあった場合、24時間365日、お客様の要請に基づいて、事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつけます。自動車事故という日常では経験することのない状況下においても、お客様の不安を取り除き安心をご提供するために生まれた、セコムならではの自動車保険です。

ベストな治療をめざすために開発されたガン保険が「自由診療保険メディコム」です。この保険は、健康保険が使える保険診療でも、健康保険適用外のため治療費を全額自己負担しなくてはならない自由診療でも、入院治療費の全額を補償します。つまり、最先端治療を受けた場合に治療費が高額になったとしても、経済的な負担を心配することなくガン治療に専念できるのです。また、無料で利用できる「メディコム・ナースコール」では、看護師資格を有するセコムのスタッフが、検査・治療法やセカンドオピニオンなど、ガン治療に関してお客様をサポートします。このような経済面以外でも「安心」のガン保険として大変ご高評を得ています。

セコムは、これからも「安全・安心」の視点から、独創的な商品を開発し、積極的な拡販を行ってまいります。



セコム損害保険(株)本社ビル



セコム損害保険(株)のコールセンター

地理情報サービス

商用人工衛星の撮影画像の国内独占販売権を取得している(株)パスコ。
広域・高精度なモニタリング技術の共同開発を開始するなど、社会の新たなニーズにいち早く
応えられる空間情報事業者をめざしています。

新たなニーズにいち早く対応することで 実績を拡大

近年の市町村合併により、地方自治体では情報システムの見直しや地図データ、航空写真などの基礎情報の統合が、盛んに行われています。そのような地方自治体のニーズにいち早く対応することで、(株)パスコは官公庁向けの統合型GIS製品「PasCAL」や各種公共施設管理システムなどの需要を増大させています。

民間企業向けには、商圈分析や出店計画などのマーケティングを支援するサービス、効率的な物流業務のための配送計画作成を支援するサービスなどを提供し、実績を拡大しています。また、昨年からは開始した、従業員の帰宅困難者数を地理的要因から予測するなどして事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)策定を支援するサービスも好評で、このサービスを首都圏全域と関西地域に広げていこうとしています。

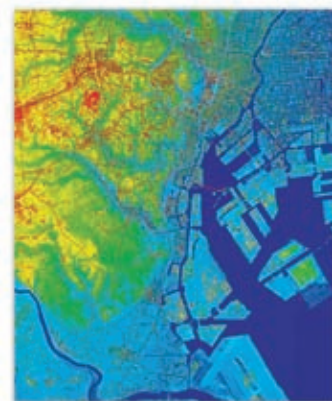
衛星測量を利用した新たなサービスを開始

(株)パスコは、商用目的では世界最高水準の解像度を持つ、ドイツの人工衛星による撮影画像の日本国内での独占販売権と、全世界への販売権を取得しています。この衛星の特長は、撮影に光ではなく電波を利用することで、昼夜や天候を問わずに地球上を高精度に撮影できるところにあります。その特長を活かして、赤道周辺の雲に覆われた熱帯雨林地域などの国土基本図の作成に、積極的に参加しています。また、世界規模で進む地球温暖化の問題に関連した広域で高精度な観測技術の開発にも、取り組んでいます。具体的には、ヒマラヤの氷河湖決壊洪水、富士山の残雪、南極大陸の棚氷の融解、アマゾンの森林の減少、桜島の噴火など、これらの撮影データを蓄積し、

比較・分析しながら観測を進めています。この観測技術は、災害の早期発見や地球温暖化による影響を把握する上で欠かせない技術になると期待されています。

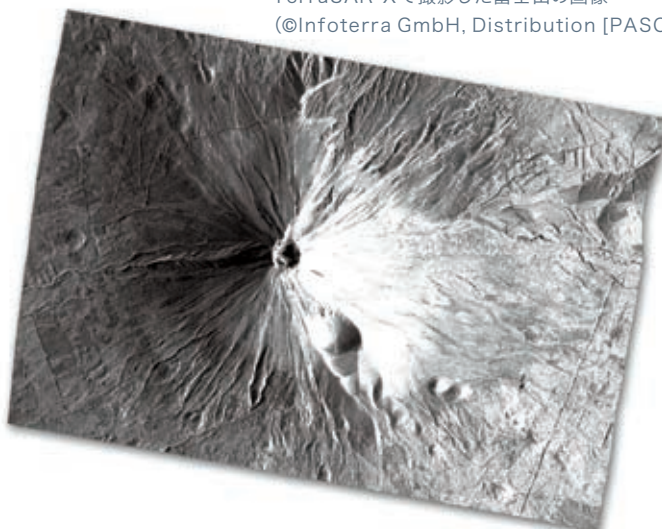
ユビキタス技術を活用した新しいサービス

日本国内でも積極的に事業を展開している(株)パスコが、新規事業として取り組んでいるのがユビキタスコンサルティングの提供です。例えば、障がいのある方でもだれもが自由に街を移動できるような仕組みづくりとして、神戸で行われた実証実験「自律移動支援プロジェクト」への参画を皮切りに、道路施設、橋梁、公園遊具の維持管理など、生活空間の至る所に電子タグや電波マーカーを設置し、そのタグから電子情報として得られる位置情報や管理履歴などの情報とインターネットを活用して、人に優しい社会を実現しようとしています。



航空写真データからデジタル表層モデルを作成し、標高値を色分け表示した画像(段彩陰影図)

TerraSAR-Xで撮影した富士山の画像
(©Infoterra GmbH, Distribution [PASCO])



情報通信・その他のサービス

情報通信サービスは、「セコム安否確認サービス」が充実のラインアップで好調。
不動産開発・販売では、「安心と快適のマンション」をコンセプトにした
高品質なマンションを販売しています。



セコムトラストシステムズ(株)の
災害監視センター



セキュアデータセンター

ラインアップが充実した 「セコム安否確認サービス」

2005年に内閣府が「事業継続ガイドライン」を示して以来、企業のBCPへの関心の高まりを背景に注目を集めているのが、「セコム安否確認サービス」です。これは、地震などの災害発生時に社員の安否と被災地の状況をいち早く把握して、事業の早期再開を支援するサービスです。2004年のサービス開始直後に起きた新潟県中越地震や福岡県西方沖地震では、その有効性が実証されました。

セコムは、「セコム安否確認サービス」のラインアップを充実させています。2007年1月には、海外勤務の社員に海外リスク情報の配信と安否が確認できる「セコム安否確認サービスGS(グローバルサテライト)」を開始して、海外進出企業の危機管理をお手伝いしています。さらに同年11月には、「セコム安否確認サービスSCM(お客様の取引先向け)」を開始しました。このサービスは、災害時に重要取引先の担当者の安否を素早く確認するとともに、取引先の被災状況をリアルタイムに把握します。これにより、BCPの重要課題のひとつである重要取引先の情報収集に、威力を発揮します。

このほかに、セコムは災害が発生したときに企業が迅速な初動を行えるよう初動対策の立案を支援する「セコム初動支援サービス」なども提供しており、BCPに役立つサービスを積極的に展開しています。

高度な情報セキュリティを提供している 「セキュアデータセンター」

セコムは、情報ネットワーク社会の「安全・安心」を実現するために、ネット上の情報を守る情報セキュリティも提供しています。フィジカルセキュリティと情報セキュリティを融合させた最高水準の堅牢性で、お客様の大切なデータを守っているのが、「セキュアデータセンター」です。このセンターでは、お客様のサーバーを預かり、不正アクセス監視、ウイルス監視、電子認証サービスなど、高度な情報セキュリティを提供しており、日本を代表する金融機関の電子認証局の構築や運用を受託するなど、多くの企業からご契約をいただいています。セコムは、今後も質の高い「セキュアデータセンター」の拡販に努めていきます。

セコムならではの 「安心と快適のマンション」も販売

住居の「安全・安心」と「快適な生活」を追求し、「安心と快適のマンション」をコンセプトに開発・販売しているセコムホームライフ(株)は、分譲マンション「グローリオ」シリーズにセコムのマンションセキュリティシステムを標準装備し、安全・安心なマンションを実現しています。また、快適な暮らしをサポートするサービス「グローリオ・サポート24」を24時間提供し、暮らしの困りごとだけではなく、医療、損害保険、介護など、さまざまな相談に乗っています。多様な事業を展開しているセコムだからこそできるこのサービスは、入居者の方々からご好評をいただいています。



グローリオ瀬田